

第73回山形県連合小学校長会研究協議会

<大会主題>

新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

～夢と希望をもち 共に未来を拓く いのち輝く子どもを育てる学校経営～

<趣 旨>

山形県連合小学校長会は、全国連合小学校長会と歩みを共にし、平成25年度より大会主題を「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」と掲げ、研究と実践を進めてきた。私たちは、これまでの研究成果を踏まえながら、次の時代を切り拓くために、社会の要請に応えられる教育の推進を引き続き図っていかねばならない。

現代は、知識基盤社会への新たな進展やICTの進歩と経済・社会のグローバル化の進行、急速な少子高齢化、地域コミュニティの弱体化など、子どもを取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化し、先行き不透明な時代となっている。さらに、国の教育改革もスピード感を増して進んでいる。また、平成23年3月の東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故は、「絆」の重要性と自他の「いのち」や「生き方」について深く考える契機になり、人々にこれからの社会のありようを現在も問い続けている。

このような状況の中、学校においては、子どもたちに、自分の意思をしっかりと持ち、多様な価値観をもつ人々と共に考え、問題解決に主体的に参画し、地域社会の発展に貢献しようという意識や態度を育てていく必要がある。さらに、持続可能な社会を実現するためにも、新たな発想や新たな価値を創造し社会の各分野を牽引していける人材の育成が求められている。

私たち校長はこうした現状を受け止め、学校経営の中で、子どもたちが夢と未来への希望をもち、それらの実現に向かって、一つ一つの困難を主体的に乗り越え、人とつながりながら社会を生き抜いていける力を育んでいかなければならない。

本協議会では、平成27年度より、副主題を「夢と希望をもち 共に未来を拓く いのち輝く子どもを育てる学校経営」とした。これは、「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」を基本目標とし、目指す人間像を「いのちをつなぐ人 学び続ける人 地域とつながる人」とする第6次山形県教育振興計画の策定と時を同じくし、社会の急激な変化の中、未来を見つめ自立した人間として、「生命」の大切さを学び、自らの「いのち」を輝かせて生きるという「山形らしい教育」を一層推進することを意図したものである。世代交代や学校統廃合等の課題にも直面する中、学校経営者として「不易」と「流行」を見極め、いのち輝く子どもを育てなければならない。

また、運営にあたっては、平成23年度に開催された第63回全国連合小学校長会研究協議会山形大会の成果を受け、分科会協議を柱とした研究協議会のもち方を継承する。さらに、今年度開催される全国連合小学校長会研究協議会秋田大会における分科会構成を見据えながら、5分科会構成による分科会運営の一層の充実を図り、これからの学校教育と校長の果たすべき責務について明らかにしていく。